



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 住友精密工業  
 コード番号 6355 URL <http://www.spp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 田岡 良夫  
 (氏名) 石丸 正吾  
 TEL 06-6489-5816

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,488	17.1	164		316		268	
29年3月期第1四半期	11,442	14.8	113		638		580	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 303百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 895百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.07	
29年3月期第1四半期	10.97	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	76,445	31,917	40.6	587.00
29年3月期	77,811	32,353	40.5	595.05

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 31,068百万円 29年3月期 31,495百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.50		2.50	5.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		2.50		2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	5.2	1,200		1,350		1,100		20.78
通期	48,000	0.2	850	16.3	550	575.1	200		3.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	53,167,798 株	29年3月期	53,167,798 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	239,863 株	29年3月期	238,796 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	52,928,212 株	29年3月期1Q	52,932,491 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用・所得環境は緩やかな回復基調にありますものの、新興国の経済停滞、欧米の新政権発足や中東・東アジア地域における地政学リスクの高まりなどもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下でありまして、当社グループは一体となりまして各分野の受注確保と拡販に努めるとともに、新製品の開発と用途拡大に取り組んでまいりましたものの、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比17.1%減少し、9,488百万円となりました。また、損益につきましては、営業損益は△164百万円（前年同期113百万円）、経常損益は△316百万円（前年同期△638百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損益は△268百万円（前年同期△580百万円）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ1,366百万円減少し、76,445百万円となりました。また、負債合計は、前期末と比べ930百万円減少し、44,527百万円となりました。なお、純資産は31,917百万円となり、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント好転し、40.6%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月28日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,079	10,448
受取手形及び売掛金	18,572	13,894
たな卸資産	23,449	24,745
その他	2,531	2,754
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	52,630	51,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,052	8,919
その他(純額)	8,960	8,727
有形固定資産合計	18,013	17,647
無形固定資産		
のれん	1,057	1,031
その他	1,244	1,188
無形固定資産合計	2,301	2,219
投資その他の資産	4,865	4,737
固定資産合計	25,180	24,605
資産合計	77,811	76,445
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,027	6,062
短期借入金	16,114	16,188
1年内返済予定の長期借入金	2,345	2,363
賞与引当金	1,290	722
その他	5,603	5,233
流動負債合計	31,381	30,570
固定負債		
長期借入金	11,745	11,716
退職給付に係る負債	1,279	1,281
資産除去債務	139	137
その他	911	821
固定負債合計	14,076	13,956
負債合計	45,457	44,527
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,311	10,311
資本剰余金	11,332	11,332
利益剰余金	10,163	9,762
自己株式	△99	△99
株主資本合計	31,708	31,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,234	1,155
為替換算調整勘定	△446	△458
退職給付に係る調整累計額	△1,001	△936
その他の包括利益累計額合計	△212	△238
非支配株主持分	858	849
純資産合計	32,353	31,917
負債純資産合計	77,811	76,445

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,442	9,488
売上原価	8,830	7,373
売上総利益	2,612	2,114
販売費及び一般管理費	2,498	2,279
営業利益又は営業損失(△)	113	△164
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	44	15
持分法による投資利益	10	37
その他	6	3
営業外収益合計	67	57
営業外費用		
支払利息	64	57
為替差損	689	104
その他	65	47
営業外費用合計	819	209
経常損失(△)	△638	△316
税金等調整前四半期純損失(△)	△638	△316
法人税等	△58	△68
四半期純損失(△)	△579	△248
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	19
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△580	△268

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△579	△248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△84
為替換算調整勘定	△313	△39
退職給付に係る調整額	61	65
持分法適用会社に対する持分相当額	△98	3
その他の包括利益合計	△315	△54
四半期包括利益	△895	△303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△864	△294
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	△8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	航空宇宙 関連事業	熱エネルギー・ 環境関連事業	I C T関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,486	3,079	876	11,442	—	11,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,486	3,079	876	11,442	—	11,442
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)(営業利益)	547	△172	△261	113	—	113

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	航空宇宙 関連事業	熱エネルギー・ 環境関連事業	I C T関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,025	1,518	944	9,488	—	9,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,025	1,518	944	9,488	—	9,488
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)(営業損失)	343	△316	△191	△164	—	△164

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント区分方法及び費用の配賦方法の見直し)

当第1四半期連結会計期間より、各製品の事業戦略をより明確にし、その事業戦略を達成するため当社グループ内の組織再編を行い、これに合わせた管理区分の変更を実施したことに伴い、報告セグメントの区分方法を変更しております。また、セグメント別の損益をより適切に反映させるために、各セグメントに配分する売上高及び費用の配賦につき見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法及び見直し後の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。